

なな

6月号
vol. 220

「6月2日は路地の日」
長橋2丁目付近にて撮影(二〇二五年)

第5回 /

大阪をチャリテイで明るく！
まちづくリプロデューサーに聞く、
地域の公園活用の可能性 Part2

まちびと 特集
探検

第5回

大阪をチャリティで明るく！ まちづくりプロデューサーに聞く、地域の公園活用の可能性Part2



まちびと

探検

西成区北西部地域で住まう・働く
10代～30代の若者たちが、
各地の先進事例から「まちづくり」を学ぶため
地域を飛び出し、街や人を探す旅にでる。
若者たちの視点から見た北西部地域の課題や
各地で行われているまちづくりを探ってみよう。

前回に引き続き、株式会社街プロダクション代表であり、西区商店会「堀江の会」会長を務めるまちづくりプロデューサー・梅田さんにお話を伺った。Part2の今回では地域の公園活用の事例とその可能性、そして西成区の公園活用を考える。なお、梅田さんの半生とまちづくりに対する想いを形にするまでの取り組みは『なび』3月号をご覧ください。

西恋マルシェに託した想い

磯 公園活用のお話が出てきましたね！どんな流れで進んでいったんですか？

梅 西区がまた、公園を利用して何か面白いイベントをやってくれる人の公募をしたんです。磯「堀江こども学校」のような形で応募されたんですか？

梅 地域の公園を活用してこれまで関わってもらった人たちが公園を利用する人たちと一緒に「みんなでまちぐるみの文化祭をしよう！」というテーマで「堀江文化祭」という企画にしました。



磯 すでに面白そうですね！
梅 採扱はされたんですけど、区からの要望でイベントの名称を「堀江文化祭」から「西区に恋する」という意味の「西恋マルシェ」に変更しました。このイベントは去年で11回目を迎えています。

ることの大変さを考えると本当にすごいですね。
梅 自身が被災して一瞬にして地元を失くした。やっぱりその経験があつて、新しい地に来てできた「仲間」や「助け合える環境」を創ることが、まちの本来の活性化に繋がるのだと思っています。

以前「アメリバル」を主宰していて感じたのは、盛況がつづいて順調であっても、話題性があり資金も潤沢でブランド意識が高い新たなイベントが他にできると、人びとの興味がそちらに移ってしまい、まちが衰退するってことでした。それを目の当たりにして同じ轍は踏んじやいけないなって。

それと、年を重ねることに「飲んで食べて騒いで楽しい」だけじゃあかんかなと思うように。そんなのがきっかけでまちづくりにに関心が高まっていきました。

巻き込み力に脱帽！

磯「ご自身の経験を基にいろんなことを実践して、そこで見て聞いて感じたことをプラス



トなんで協力してください」って言ってもお店にとっては営業や日常もあるわけだしそこにはお客さんとかも居るからね。

逆に公園の近くのコンビニには事前にイベントの時はトイレを使えないようにしてもらいます。イベント以外のコンビニを利用するお客様に迷惑がかかったり店員すらトイレが使えないという状況が起きたりする

機 すこいですね！イベント自体は知っていましたがそんな大きいイベントになっていったんですね。まさしく共感ですね。

梅 振り返ってみるとやっぱり、区に公募して受託者となったのがスタートでした。地域コミュニティに住まう人たちが来てくれるから私たち商売をしている者は頑張れる。じゃあ商売している人たちには何ができる

機 成長してきました。

機 すこいですね！イベント自体は知っていましたがそんな大きいイベントになっていったんですね。まさしく共感ですね。

梅 振り返ってみるとやっぱり、区に公募して受託者となったのがスタートでした。地域コミュニティに住まう人たちが来てくれるから私たち商売をしている者は頑張れる。じゃあ商売している人たちには何ができる

に変えてまた実践、という流れですね。

梅 そうですね。「アメホリバル」もアメ村と堀江だけでなく御堂筋を中心に新町や梅田、南船場、東心斎橋とかを巻き込んで「サンタバル」「サンタラン」という「飲んで食べて」が子どもを笑顔にするというテーマの支援型チャリティーバルに変化していき

機 その目線は全く持っていませんでした！今日一番の発見と学びです！

梅 盆踊りならそこに集う人たちの地元愛を育てることが大切でしょうね。世の中がどんどん多様化してきて貧富の差も開いてくる、そんな中でも西成区というまちはそんなこ

機 足して「そのイベントをやった後に何が残ったか」というところまで考えてるのはほとんどないんじゃないかな？

機 その目線は全く持っていませんでした！今日一番の発見と学びです！

梅 苦労というか近隣への配慮かな？事前に「こういう音が出ます」「こういう目的でイベントをします」って近隣に声掛けをして理解をしてもらうことが大切かなと思います。公園を利用したイベントって意外と地域の安全や安心も兼ねてたり、犯罪抑止にもつながったり、ただただ騒ぐだけではなくコミュニティの形成に寄与していたり公園美化にも繋がっていたりいろんな効果や可能性があるんですよ。

機 いたいてはイベントを開催することに満足して「そのイベントをやった後に何が残ったか」というところまで考えてるのはほとんどないんじゃないかな？



のかと考えたときに行政のプロポーザルを活用することだな、と。取り組みをスタートしてから資金とか広報とか本当にいる人な人たちと繋がりが助けてもらってここまで来たと思います。

機 まさしく産官民連携ですね。お話を聞けば聞くほど梅田さんの巻き込み力に脱帽です。

西成の盆踊りを振り返る

機 実は僕たちも地元の地域で年に一回盆踊りをしています。イベント自体は認知も広がり毎年大勢の人たちで賑わうイベントになってきていると思います。

でもお話を聞いて改めてイベント以外の時の公園を振り返ってみると、雑草が伸びっぱなしでとても公園の役割は果たしていないように感じました。

これまでの公園活用で梅田さんが一番大変だったことはなんですか？

梅 公園でイベント等をしてそれなりの人が集まってくると、やっぱりトイレの問題は大きかったです。予算があればトイレを設置できるけどなかったら設置できないでしょう(笑)だから公園周辺のお店さんの協力がいりますよね。

イベントの主催側が「地域のためのイベン

と関係なしにみんなで受け止め、受け入れてくれる。そんな温かい西成区のまちはとてもいいまちだと思います。

機 「西成」って地名が出てくるとメディアアリテラシーや地域イメージに悩むことが多かったですが、こんな前向きな意見を貰えてとてもうれしくモチベーションがとんでもなく上がりました！(笑)改めて今西成区に住まう人たち、特に子どもたちに「誇り」や「愛着」をもってもらえるような取り組みを考えていきたいと思っています。今日はありがとうございました。

おわりに

2回にわたってまちづくりプロデューサーの梅田さんへの取材を掲載した。取材に行った僕自身本当に勉強になることばかりで、まさに目から鱗だった。公園の活用についてもそうだが、地元の良さをもう一度発掘する。それを今後のまちづくりに活かしていきたいと本気でそう思った。

文責…磯拓哉



一般社団法人よりそいネットおおさか

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4-15
大阪府社会福祉会館2階
TEL/FAX: 06-6711-0130
HP: <https://www.yoriso-osaka.jp>

よりそいネットおおさかは、刑務所等の矯正施設を退所した人たちの支援や、支援者との関係づくりに取り組み、ネットワーク型の福祉構築を目指した活動を行っています。



も多いそうです。完成した作品は好評で、毎日通う事業所内にもプレゼントされた作品が飾られています。

今回、初めて出展する機会とあって特別な思いを込めて制作に取り組んだといえます。「当日は、多くの方に作品をご覧いただきたい」と語るサモンテールさん。その作品が見る人々にどんな印象を与えるのか、みなさんも作品を通してサモンテールさんの過去や現在の生活を想像してみてくださいでしょうか。



【笹川勝正】子どものおもちゃに手作りの剣を作りました。朝から段ボールを切って貼ってしていたら、気が付いたら夕方になっていてお休みが終わっていました…

春の訪れとともに、新緑が目に見え、鮮やかに映える季節となりました。そんな中、関西大学堺キャンパスにおいて、「ア

第4回 テラリウムは 緑の宝石箱？！

あなたの センスに あっぱれ！

更生の道のりで見つけた新しい「表現」のカタチを
よりそいネットおおさかが紹介します。

ト井戸端会議」と題した決起集会が開催されました。この会議は、関西大学所ゼミが「堺市と関西大学による地域連携事業」の一環として進められている「Power of Anaprosjekt」の一部で、よりそいネットおおさかも昨年度に引き続き協力しています。今年度から新たにプロジェクトへ参加する学生も加わり、既存メンバーと交流を深める貴重な機会となりました。また、昨年度の展覧会に作品を出展したアーティストも参加し、昨年の活動を振り返るとともに、新年度への意気込みを共有する場となりました。

当日は、今年度の新たな試みとして、ワークショップが開催されることが発表されました。アートの専門家の監修のもと、学生と更生の道を歩む当事者が協力して作品制作に取り組みます。これまでアートに触れる機会が少なかった方々でも、学生と一緒に創作活動を楽しみながら新たな表現の可能性を探るとともに、人とのつながりの大切さを感じられる機会となるのではないのでしょうか。

そして、6月22日(日)には関西大学堺キャンパス祭の場を借りてアート展示会が開催されます。昨年度からの参加者に加え、新たに作品を出展するアーティストも多数参加予定で、その1人が本物の苔を使ったテラリウムを制作する「サモンテール」さんです。現在、グループホームで暮らしながら、就労継続支援B型事業所に通い、空いた時間に作品づくりをしています。

テラリウム制作を始めたのは半年ほど前、刑務所を出所してからのことでした。毎日お世話になっている支援者に感謝を伝えたいと、余暇時間を使って創作活動を始めました。実は、過去に熱帯魚を飼育していた経験があり、水槽のレイアウトを工夫して美しく整えることに夢中になったことが、今につながっているのだとか。驚くのは製作時間で、わずか15分ほどで完成すること。苔への負担も考慮しながら、短時間で仕上げるのが彼のこだわりです。一度制作に入ると没頭してしまう感覚は「気持ちが良い」と語り、過去や日々のストレスを忘れられること



【沖田一志】中学生の頃からラジオ好きで、毎週欠かさず聴いているレギュラー番組がたくさんあります。プロ野球の季節になると野球中継が加わり、番組を追いかける時間が不足して苦労します。



【磯拓哉】梅雨の季節ですね。一年の中で1番嫌なシーズンです。洗濯物は部屋干しが続くし、出かけるスケジュールは組みにくいしで何とも言えない季節です。夏が待ち遠しいです。



- おかん はあ…。
- ◆ 息子 どうした、いつもよりため息、深くないか。
- まあな。五條さんって“おもしろい人”が68歳の若さで亡くなったから、今でもちょっと信じられんくらい。
- ◆ どんな人やったん？
- 保育園の園長さんを定年退職して、西成の実家に戻ってきたんやけど、「人が集まるようなことをしたい」という長年の夢を叶えるために子ども食堂を始めはってん。
- ◆ へえ。
- ケアマネの下北さんの子どももすごく世話になってたらしくて、「先生、先生」ってすごく慕ってはったわ。あるとき五條さんの末期ガンが見つかって、下北さん、「自分がケアマネする」って買って出たらしい。
- ◆ 人望のある人なんやな。
- うん。で、五條さんが退院するときに「もう末期やからそんな長くないけども、ちょっと一緒にやってくれへん？」って声をかけてくれて、わたしも「いや、もう全然いいよ」って。声かけてもらったのがすごいありがたかった。
- ◆ へえ。
- 歩行が難しいという相談で自宅に行ったら、すごい元気でとても末期ガンの患者とは思えへんかった。足は引きずってたけど、歩行器持っていったら、「うわー、これ、楽やわあ。いいわ」って。何より驚いたんは、自分は治る、絶対治してみせるっていう強い意志をずっと

持ってはったこと。下北さんも「ほんま、こんな人初めてや」って。

- ◆ おれやったら、すぐ諦めるやろうな。
- でも、病気の進行はすごく早かった。わずか2カ月のうちに歩行器から車椅子、さらにベッド、エアマットって依頼される器具がどんどん変わってった。
- ◆ はあ、気の毒やな。
- そんな中でも、ご家族が五條さんのために持ってきてくれたイチゴの味は忘れられへん。五條さん、「すごくおいしいから、食べ」って分けてくれて。ほんまに美味しかったなあ。
- ◆ いい思い出やな。
- こんなこともあったなあ。今から思えば最後の訪問かな、自宅に行ったら五條さん、電話に向かってすごい訴えてはった。「今までできてたのに、できひんようになった。わかれへんねん、字が書かれへんねん」って。わたしが来てるのわかってるのに、ちょっと前のしっかりしてた時やったら、お客さん放ったらかしにすることなんかないんやけど、その時はもうずっと。「なんで、あんながわかれへんのやろ？ なんでできへんのやろ？ そういう障害を持った子の気持ちがすごい今、わかった」って。
- ◆ すごい悔しかったんやろうな。
- でも、自宅療養のときは家族や親戚だけじゃなく、子ども食堂や他の活動の仲間も入れ代わり立ち代わり来てはった。五條さんには人を引きつける魅力があったんやな。
- ◆ いろんな表情のある“おもしろい人”やったんやね。
- ほんまやなあ。お葬式も参列者が500人ぐらい。教え子とか同級生とか、大人から学生までいろんな年代の人が次から次へいっぱい来てたって。神戸での活動の関係者らも来てたって。
- ◆ そら、すごい。それなら寂しく逝くことはなかったかもね。知らんけど…。

melody of smiles



4月に入園した子どもたち、GCKidsでの生活にもすっかり慣れて、園内は毎日元気な声と笑い声が響いています。園庭で砂遊びをしたり園外へお散歩に出かけていろんなものを見つけたり。ひらがなの勉強や工作にも楽しく取り組んでいます。



今回は昨年の4月号に掲載した長橋地活協の「みんな食堂」を再び取り上げる。「わずか一年で同じものを掲載するなんて、早くもネタ切れか？」と思われるかもしれないが、少し嬉しいことがあったので報告する。

みんな食堂は2018年頃からスタートし、当初の参加者は10人にも満たなかった。定期的にを行うことで徐々に参加者が増えてきていたが、コロナ禍で中止せざるを得ず、落ち着いてきた頃に活動を再開したが、なかなか参加者が戻ってこずに寂しい思いをしていた。

それでも定期開店しているところにお客さんも増え、今年5月

大阪市の住民参加型地域組織「地域活動協議会」の活動に橋を架けよう「近ッ橋【ちかつきょう】」

近ッ橋

満員御礼 みんな食堂

みんな食堂
① 毎月第2土曜日 12時～13時
② にしな隣保館ゆくとあい
×ニユー・カレー（大人3000円）

のみんな食堂には40人を超えるお客さんが来てくれた。そして、みんな食堂開始以来、初めての「売り切れ御免」を達成。

継続は力なり。定期的な実施により居場所として定着し、つながりづくりに繋がっているのだなと感じた。いつも協力してくれているボランティアのみなさんと参加者に感謝感謝である。



【福井龍磨】埼玉県の小手指ヶ原古戦場を訪れた。旧い武蔵野の面影が今も色濃く残る。1333年に新田義貞と鎌倉幕府軍がここで激突、勝った義貞はそのまゝ鎌倉に攻め入って幕府を滅ぼした。兵どもが夢の跡。



【西田吉志】今年度から長橋地域活動協議会に「地域公園活性化事業」を新たに追加した。年中雑草が生い茂り、利用者がいない公園ではなく、交流、子育て、インクルーシブ、防災など地域に必要な公園づくりを目指す。



【谷口円】最近植物にハマっています。かつては買っては枯らしていましたが、この10年で性格が変化し、心配性＆慎重さが増した結果、育てられるように。今は5鉢ですが、まだまだ増やす予定。



【田岡秀朋】2/3以上の信任を得て、新ローマ法皇が決まった。133人の枢機卿による密室選挙の2日目、白煙が決着を告げた。1740年は181日間も籠り、4人が亡くなったらしい。まさに、コンクラーベ。

葉っぱの吐き

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとのお喋りを聞いてください。



「サフィニアアートの葉っぱ：続編」の巻

まいにち声をかけました。
まいにち笑顔でいました。
ときどき水をあげました。
ときどき葉っぱをゆらしました。
たくさん愛をあげました。
たくさんお日様をみせました。
すこし大きくなりました。
すこし背ものびました。
すると蕾がきました。
そして花がさきました。
お店のひとが言ったこと。
かわいい花がさきますよ。
わたしが言ったこと。
かわいい花がさいたよ。

赤井まゆみ

サフィニアアートのこと

サントリーが開発したベチュニアの品種。花びらに独特の模様と色合い。花言葉は「咲きたての笑顔」



い湯かげん

夫婦別姓法を実現したい

4月30日、立憲民主党は、選択的夫婦別姓制度を実現するために、「民法の一部を改正する法案」を衆議院に提出した。「夫婦は、婚姻の際に定めるところにより、夫または妻の氏を称する」との民法第750条(夫婦の氏)の改正だ。戸籍法第74条(婚姻届)でも、婚姻届に夫婦の氏(どちらの氏にするか)を記載しなければならないと定められているが、民法は「夫婦同姓」を義務づける「根拠法」、戸籍法は手続きを定めた「実務法」なので、関連して改正されるということだろう。子どもの姓は出生時ではなく「婚姻時」に決定するとの法案で、子ども間で姓が異なる心配はない。記事を見た時「よしっ」と思う

はずなのに、ボクは「大丈夫か」と疑心暗鬼になった。何故なら野党間の議論や動きが全然見えていなかったからだ。「辻元清美さん、よう目立ってるなあ」という感じもない。社民の大橋さんも、れいわの大石さんもこの問題をあんまり発信しておられない気がしてた。ボクの思い違いかもしれないけど。案の定、国民民主党は「戸籍をどうするか」など少し考え方が違う」と言い出し、「立憲と一緒にやる」とはなし」と明言してしまった。維新は、「戸籍制度は変えずに、社会の困り事を直接的に解決する」などと宣って、「通称」使用を法的に認める法案をまとめるらしいと報道された。なんだ、この軽さは。そ

れにしても、立憲は野党合意の努力をしたのかな？ 院外との連携やっていたかな？ 連合の芳野会長はこの問題はさすがにしゃんとされてると思ってたけど、何やっておられたのやら。それに、部落解放同盟は何してたんだらう。「通称使用」とは、戸籍上は同姓のままでも実生活では旧姓を使えるという趣旨らしいが、戸籍上の氏の変更されないために法律上の書類(不動産登記、金融契約、パスポートなど)では通称は使えない場合が多々想定される。多分、法的な不平等の解消にはならない。それより何より、これでは夫婦別姓法案ではないし、性差別だと幾度も是正を勧告した国連にも応えていない。論点は「同姓を強制されない自由を選べること」なので、通称使用では本質のすり替えでしかない。

富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

ボクはこう感じた。人権などを「政争の具にしない」とか「超党派で」とか政治家はよく言うけど、その本意は「当事者になって考えろ」ということなんだ。そこを履き違えて「妥協し合う」と解されているのではないか。だから、「家族の一体感」とか「伝統的秩序」などというまやかしに絡められてしまう。服従を強いて何が一体感だ。127年続いたというだけで、悪(差別)法が「伝統」になってしまっただけじゃないか。さて、どうする？ この状態で「立憲賛成」の署名運動とか院外行動は難しいし、禍根を残してしまうだけだ。立憲案に拘らず夫婦別姓法をつくる市民運動の旗が立つてくれないものか。それにしても与野党問わず日本の政党は差別問題に弱すぎる、と生意気にも思っ

先日、スーパーに買い物に行くと、5キロの米が何と4999円！そこに消費税がかかる。いやあ、びっくり！我が家は二人暮らしなのでそれほど米は消費しないが、子育て中の家族はいったい食費にいくらかかるのだろうか。また、生活保護で暮らしておられる方などはどうだろうか！政府も備蓄米を放出しているようだが、消費者の手元には届かずどこへ行ったのかわからないという。そんなことってあるのだろうか？

7月の参議院選挙に向けて野党が物価対策を検討しているようだが、票取りの一時しのぎのバラマキではなく恒久的な対応を検討してほしいものだ。春闘で給料が上がれば物価も上がる、そんなんで良いとは思わない。何とかして！

(寺本良弘)

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



【若松司】オタク第2世代としては映画『機動戦士Gundam GQuuuuuuX』を外すことはできなかった。映画前半の垂涎の展開は、若い世代が1979年放映のオリジナル版を観るきっかけにもなっているらしい。じつに嬉しい。

【山村裕太】AIの発展が何かと話題の今日この頃。先日Amazonで電子レンジを購入。後日Amazonにて「あなたへのオススメ！単機能電子レンジ！」何台買わせる気やねん。



地域の縁を心でつなぐ

松向寺こい 心の時間

火葬に立ち会う度に、死ねば愛する家族も財産も何も持たずてゆけないことを教えられます。「ならば、せめて子孫・作品・生き様など有形無形の『生きた証』をこの世に残したい」という願いが、今を大切に生きる原動力になりました。

かつて朝日新聞に載った「震災で逝った息子よ」という投書には、1歳半の幼さで亡くなった我が子の思い出がつづられ「○○という幼い命がこの世にあったことを、ほんの少しでいい、その名前を口にして思ったださい」とありました。息子の「生きた証」を残したいという母の願いに多くの人が共感したことでしょう。

また檀家のOさんのご自宅には亡き愛犬の写真の隣に、私の愛犬の死に触れた「心の時間」3月号が添えられていました。愛犬の「生きた証」とOさんの優しさに触れ、嬉しくなりました。

「生きた証」は各々違います、何を大切にして生きてゆくのかを深く考えさせてくれます。それは「何のためにこの世に生まれてきたのか」という人生の大問題のヒントだと思います。

松向寺 通法

写真は人生の一部が映ったもの。

ここは思い出や自慢の1枚を少しご紹介するコーナーです。



ウツリ の1枚

『雨と神社と私』

今の職場に来て5年。「雨男雨男」と散々言われてきたが、数年前に旅行で行った厳島神社の写真を見てほしい。雨など全く降っていない。本当の雨男とは旅行中に降るものだ。写真を見て察しの良い人は気付いただろうが、この写真を撮った1時間後に土砂降りである。

(編集スタッフ 山村裕太)

ゆーとあい

にしな隣保館

にしな隣保館「スマイル ゆーとあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび 6月号 (vol.220)
発行日: 2025年 6月 1日 (創刊日: 2007年 1月 1日)
発行: 株式会社ナイス
住所: 大阪市西成区長橋 3-6-33
電話: 06-6563-1150
E-mail: info@nice.ne.jp
url: https://www.nice.ne.jp/

編集長: 西田吉志
編集: 磯拓哉、沖田一志、笹川勝正、住友宣夫、田岡秀朋、福井龍磨、山村裕太、若松司 (あいえお順)
イラスト: hidarimaki、西井亜花梨
デザイン: 谷口円

(株)ナイス
ホームページ

